第4回定例会 区政をただす 一般質問

区長　①地域にふさわしい街並みの形成や延焼遮断帯の機能を発揮させるため、地区計画を策定する予定であり、今年度中にたたき台を取りまとめ、平成28年度中の都市計画決定を目指す。②平成28年3月に地域住民を主体としたまちづくり検討会を設立する。

商店街街路灯に対する支援策を検討せよ

商店の減少や後継者不足で活動が困難となり、街路灯のLED化や撤去などの維持管理に苦しんでいる商店街に対し、支援策を検討すべきでは。

区長　LED化や撤去が困難な商店街に対し、具体的な方策を検討中である。

旧第六中学校跡地周辺の道路整備計画を問う

自由民主党議員団　大内　しんご

旧第六中学校跡地の大部分は、都立中野工業高校の拡張用地となっており、高校の敷地に隣接する妙正寺川は、未着手部分の河川改修も予測される。これらの大きな動きを捉えて防災性の向上や住環境の改善を図る必要があるが、道路整備などの具体的な計画はどのようになっているのか。

区長　すでに跡地北側部分には防災広場を開設している。来年度には、跡地東側の未売却部分を活用して道路を新設し、中野工業高校敷地と跡地の間の通路は、拡幅と線形の改良を行う予定である。

旧沼袋小学校校庭をスポーツ広場として暫定開放せよ

旧沼袋小学校の校庭は、現在民間の学校に貸し付けているが、地域からは開放してほしいとの要望がある。貸付期間が終了する平成28年3月末以降は、開放すべきでは。

区長　北部地域の健康づくり・スポーツ推進のため、旧沼袋小学校校庭の暫定的な地域開放の可能性やその方法について検討していきたい。

西武新宿線連続立体交差事業の今後の計画を問う

①沼袋駅周辺まちづくりの区の考え方と今後の事業の進め方は。②野方駅周辺まちづくりの検討の進め方は。

西武新宿線連続立体交差事業を問う

公明党議員団　平山　英明

野方・都立家政・鷺ノ宮駅周辺地区のまちづくりの検討にあたり、駅ごとの検討組織を立ち上げるべきではないか。

区長　駅周辺ごとに地域の課題が異なるため、駅ごとに検討組織を設立することを考えている。平成28年3月の設立を目指し、地域の将来像や課題について検討していく。

交通弱者の移動環境を改善せよ

これまで検討を進めてきた全区的な移動は検討に時間を要する。より必要性の高いところから段階的に進めていくべきである。まずは「すこやか福祉センター圏域」での改善を目指し、オンデマンドや乗り合いタクシー等、地域包括ケアの中で推進を図るべきではないか。

区長　基本的には区内全域を対象として対策を検討しているが、日常生活圏域における移動の円滑化等についても、短期間で実現可能な方策があるか、といったことも視野に入れ、幅広く検討したい。

ユニバーサルデザインを推進せよ

情報発信のユニバーサルデザイン化に取り組むことを契機として、将来的に区としてのユニバーサルデザイン条例策定を目指してはどうか。

区長　ユニバーサルデザインのまちづくりに係る条例を検討していきたい。

「シティチャージ」の設置を

東京都が「シティチャージ」の名称で、太陽光パネルからの電気でスマートフォン等の充電が手軽にできるソーラー充電スタンドを東京タワー等に設置することを発表した。都は今後も増設予定で、設置場所を検討していると聞いている。多くの人でにぎわい、防災拠点としての機能を備える四季の森公園は「シティチャージ」設置の条件を満たしていると考える。設置要請を行ってはどうか。

区長　「シティチャージ」は東京都環境公社が設置事業者を募集し、都内の大型施設などに設置事業者の費用負担により設置し、検証を行うモデル事業として開始したものである。有効性や今後の展開について、東京都環境公社などからの情報を得ながら、検討していく。

安倍内閣の新基地建設強行による地方自治破壊を許すな

日本共産党議員団　来住　和行

政府は辺野古周辺の新基地建設を強行するため、行政不服審査法を用いて執行停止・審査請求を行い、他方で地方自治法に基づく代執行の手続きに着手した。自治体の長が住民の総意のもとに判断し、正当な手続きをもって執行することに対し、執行停止の裁判で首長の権限を奪おうとする国の地方自治破壊の姿勢が許されてよいと考えるのか。区長の見解を伺う。

区長　名護市辺野古沿岸部の埋め立て承認取り消しを国が一時執行停止したことについては、国として正当な権限の行使として行われたものであると考えている。

介護報酬に公費負担の拡大を

介護報酬の大幅なマイナス改定により、区内の事業者の多くはその窮状を訴えている。①区は保険者として、事業者に対し、介護報酬引き下げの影響の実態を調査すべきではないか。②国へ公費負担の拡大による介護報酬の引き上げを要望すべきではないか。

区長　①国の実態調査や、区の事業者との意見交換会などによって実態を把握していきたい。②国への要望については、実態調査等の結果を踏まえ検討すべきと考えている。

体育館・特別教室の冷房化を

猛暑が常態化している中、熱中症予防と教育環境整備の両面からも、早期に冷房設備の全面設置を行うべきでは。

教育長　国や都の補助金を活用しながら、引き続き計画的に整備していく。

LGBTの権利保障推進を

これまでも一般質問などで求めてきたとおり、区は国際化にふさわしいLGBTの方の権利保障施策を具体的に示し、実行すべきではないか。

区長　LGBTに限らずすべての区民が同様にサービスを受けられる社会を目指し、ユニバーサルデザインのまちづくりを区政運営の基本に据え、取り組んでいく。またLGBTの方に対しては、生活を営む上での障害を理解するとともに、偏見や差別が起きないよう区民の間で理解を深める啓発が必要と考えている。

東中野駅東口バリアフリー化の早期実現を目指せ

現在実施している調査から、まずは東口のバリアフリー化の可能性と、その手法の報告を求め、東口周辺のまちづくりを待たずに、早期のバリアフリー化に取り組むべきでは。

区長　東口周辺のまちづくりの進め方の検討と、バリアフリー化へ向けた手法の検討を行っているが、この検討結果を踏まえ、来年度以降にバリアフリー化実現に向けてJRと協議を進めていく。

区民に具体的でわかりやすい基本構想・10か年計画策定を

民主党議員団　中村　延子

①これまでの10年間で頓挫してしまった施策の検証が、10か年計画のどこに活かされているのか。新たな10年間の施策発展に反映させるべきではないか。②個別施策に対する「実現へのステップ」が曖昧なままでは10か年計画とは呼べず、今後具体的に示すべきである。計画策定するまでに、より具体的に示す予定はあるのか。またその方法は。③今後、案の段階でパブリック・コメントを行うようだが、より具体的な内容が出た段階でも再度意見交換会を開催するなど、丁寧な進め方をすべきと考えるが、区の見解は。

区長　①取りやめた事業を含め個々の状況を分析し施策の検討を行った。素案は、これまでの検証を踏まえまとめたものである。②素案に対する意見を踏まえ検討し、必要な事項は案に盛り込む。③素案に対する意見交換会での意見を踏まえ案を策定するが、施策展開の具体化等の場合の意見交換会は考えていない。

新区役所整備の事業手法とスケジュールを問う

①新区役所整備費の支出について、整備費201億円のうちどれくらいを区役所敷地及び保健所敷地の活用で賄えると見込んでいるのか。また、整備費と財源はセットで提示されるべきではないか。②オリンピック需要により資材や労務単価が高騰し、中野体育館も使用できない期間が発生する予定の中、平成33年竣工にこだわらない整備スケジュールの再検討をすべきでは。

区長　①区役所再整備費は、他の事例から建築単価を推測し所要面積を乗じることで簡易に概算することはできるが、区役所・サンプラザ等の敷地活用については、事業の構想がある程度進展しないと具体的な金額を見積もることはできない。②体育館の閉鎖期間については、可能な限り短縮を検討していく。